

平成 27 年度 第 3 回銚田市総合教育会議 議事録

1 日 時 平成 28 年 1 月 25 日 (月) 開会 16 時 00 分 閉会 17 時 00 分

2 会 場 旭総合支所 2 階 会議室

3 出席者 銚田市長 鬼沢 保平
銚田市教育委員会
教育長 鬼澤 明
委 員 新館 和子 (教育長職務代理者)
委 員 石山 ちい子
委 員 関根 勝美
委 員 村田 和寿

【説明員】

教育部長	根本 研司
教育部 参事兼指導課長	狩野 秀彦
教育部 生涯学習課長	宮内 一成
教育部 教育総務課 新しい学校づくり推進室長	長峰 道男
教育部 教育総務課長補佐	宮本 三郎
教育部 教育総務課庶務係長	堀田 勝雄

【事務局】

総務部長	小野瀬武彦
総務部 総務課長	関谷 公律
総務部 総務課長補佐	新堀 栄寿
総務部 総務課行政係長	佐藤 嘉雄

4 議事の概要

○開 会 (司会：関谷総務課長)

○鬼沢市長あいさつ

本日は、ご出席いただきありがとうございます。また日頃は、児童生徒の健全育成にご尽力頂き感謝申し上げます。さて、今回はこれまで検討してきた大綱の最終案をご提示申し上げますので、皆様のご意見を賜りながら最終的な決定をしていきたいと考えております。また、今後この総合教育会議でどの様なことを議論していったら良いか、それについてもご意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

※ 前任の田口委員が任期満了となり、村田委員が就任されたため、各自自己紹介。

○協議事項（議長：鬼沢市長）

（１）銚田市教育大綱（最終案）について

（総務課 関谷課長より、大綱(案) P5「文化振興マスタープランの策定」、P6「放課後児童健全育成」の追加に関する説明）

【議長：鬼沢市長】ただいま説明がありましたが、ご意見等あればお願いします。

【鬼澤教育長】過日「教育長セミナー」という会議に出席したが、その中で今後の教育は大きく変わるとし、中身的には学校教育の充実、その他福祉や地域等を巻き込んだ教育活動ができやすくするという法律が、提案される見込みもあるとの話でした。よって、この２つの案が追加されることについては賛成です。

【石山委員】放課後児童健全育成についてですが、これは大洋公民館などを利用してやっている訳ですが、別の会議でコミュニティーセンターを利用して開設する考えもあると聞いているが、「廃校となった小学校の施設」と限定した形で大丈夫ですか。

【関谷総務課長】石山委員のおっしゃるとおり、その様な施設の利用も一つの方法と考え、文面上「等」という文字を入れさせていただきました。これは、廃校となる小学校の校舎・グラウンド・体育館等を利活用した事業展開もひとつの方策と思い、追加した文言でこのことに限定している訳ではありません。

【石山委員】それは分かるが、何も考えずこれを見た時に、「廃校となる小学校がこの様になるんだ。」との誤解を与えることにならないでしょうか。

【関谷総務課長】例えば、この部分を割愛しても問題が無いと思いますので、委員さんの中でご協議いただきたいと思います。

【議長：鬼沢市長】放課後児童育成健全育成事業において、どこでやったら良いのかを考えた時に在籍する学校内に設置をすることが一番望ましいと思いますが、そのスペースがない。よって、統廃合による小学校の利活用も良いのではないかと考えたものであり、場所がここ限定として考えたわけではありません。

【関谷総務課長】あえてこの部分が誤解を招くおそれがあるとすれば、「適切な施設を利用して」という形でもよいのかなと思います。

【議長：鬼沢市長】確かに、小学校の跡地を利用すると決まっている訳ではありません。これも一つの選択肢と考えているということです。

【関根委員】授業終了後に廃校を利用してとのことだが、この移動手段はどの様に考えていますか。近い小学校はいいが、遠い小学校は地域的に限定されると思うが。

【関谷総務課長】その所は、まだ決まっていません。そうなれば送迎も必要と思いますが、ここでは、教育大綱としてこの放課後児童健全育成事業に対する方策であるとか、方向性が示されれば良いのかと思います。

【新館委員】学童保育では、待機児童が多いと聞きます。ですから、先ほどの事業を早く実現してもらって、お母さん達の働く環境を早く整備してもらいたいと思います。また、夢みたいな考え方かもしれないが、この様な場所に地域のお年寄りを巻き込んで、難しいとは思いますが、子供達にお年寄りの良さというものを教えてあげたいということは、ずっと思っております。

【議長：鬼沢市長】貴重なご意見ありがとうございます。この事業は、指導者等入ってもらう事業なので、お年寄りをお願いして子供達の面倒を見ていただくなどの検討はしていきたいと思います。そんなに難しいことではないと思います。

【村田委員】「保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童」となっているが、親がいても気軽に利用できれば良いと思います。その方がより皆が集える場所となると思うが、どうでしょうか。

【鬼澤教育長】いわゆる「児童クラブ」という限定的なものと、参加したい生徒が参加出来る「放課後教室」をミックスしたという感じですかね。

【石山委員】人数が多くなれば、指導者の数も増やさなければならないし、全体的な人数も制限しなければならないと思う。待機児童の把握も必要です。

【議長：鬼沢市長】これは行政上の構造で、いわゆる「児童館」というものは、市内の保育所で実施しており、その対象者は限定されている。これをなんとかできるかは、行政のひとつの役割だと思います。

【関谷総務課長】放課後児童健全育成事業は、補助事業でありましてその要件に則した形で実施しているため、限定的となっておりますが、市単独でその他の事由による児童を預かることは、協議も必要ですが可能だと思います。

【議長：鬼沢市長】それでは、この廃校と労働者の限定する文言を削除して、詳細な内容は、この大綱をもとに、今後考えていくということによろしいでしょうか。

(全員異議なし)

【議長：鬼沢市長】では、そのように決定させていただきたいと思います。

議事(2)平成28年度「銚田市総合教育会議」で検討する事項について

(総務課 関谷課長より、来年度の会議内容等について説明し、了承される。)

○意見交換 議事「銚田市の特色を活かした教育について」

- 【鬼澤教育長】現在、3、4年生を対象に、副読本「わたしたちのほこた」を作成し、子供たちに銚田市の良さや将来の銚田の姿を想像してもらい、銚田市に更なる愛着をはぐくむための授業を取り入れています。
- 【石山委員】意外と地元を知らないかもしれないですね。大子とか高萩は、市を挙げて大子学とか高萩学というものを幅広く作っている。子供たちに地元を知り、地元に残ってもらうのは、大切だと思います。
例えば、涸沼がラムサール条約に登録されましたが、大人を含め子供達もその中身についての認識は、薄いのかなと感じます。
- 【鬼沢市長】私は、涸沼がラムサール条約に登録されたことで、この涸沼の事に関し、少なからず市民の皆様が、関心を持っていただいているような気がします。年末年始に各団体から招待を受け出席しましたが、いこいの村涸沼を何度も利用しました。
- 【石山委員】大人の方には浸透していると思いますが、子供達にはまだまだかなと思います。これは、涸沼に関する事だけではなく、例えば農家の生まれなのに意外に農業を知らない子供も多いと聞きます。そういった意味でも銚田農高との連携は、大事だなと思ったところです。
- 【鬼澤教育長】これらについては、総合的な学習の時間に環境に関する授業もあるので、その際に、涸沼や北浦を重点的に取り上げるということは、やっていきたいと思います。
- 【鬼沢市長】加えて、百聞は一見にしかずというように、子供達を現地に連れて行って自然に触れさせてもいいのではないかと思います。
- 【村田委員】ある学校で、うちのイチゴハウスに農業体験に来ていただいた時がありましたが、やはり、現地で食べた時の味というのは、格別だと思います。ですから、実際に現地で見ると感じるは、大切だと思います。
- 【鬼澤教育長】地元を知るうえで、在学中に1回は、そのような所に行くということは、考えた方が良くと思います。また、これと別に野友小学校、ほっとパーク、総合公園あのエリアにおいて、北浦湖畔から巴川の堤防を介して野友方面へ整備してもらうと教育的にも何かできそうだなという気がします。
- 【鬼沢市長】歩くための堤防整備は、難しくないと思います。涸沼も舗装にしてもらいたい要望をしています。今は、健康志向でウォーキングしている人が多いです。
- 【鬼澤教育長】大人も子供もあそこを歩いて、野友小の充実したアスレチックで遊んでもいいですし、景観を楽しんだ後には、お風呂に入ってもいいし、ひとつのいいエリアになるのかなと思います。
- 【新館委員】子供達も今はゲームばかりで、もう少し外で遊んでくれたらと思います。
- 【石山委員】今度北小学校に統合されるということで、地域で行っていた生涯学習事業等が出来なくなるのではないかと危惧します。

【鬼澤教育長】新しい北小学校で、新しい枠組みで行える方策を考えなければならないと感じています。

(以上で、意見交換は終了となる。)

○その他

(意見なし)

○閉会